

二中のトイレの神様

6月12日(日)に、小浜二中で「第1回福井便教会」を開催しました。遠くは茨城県、愛知県、富山県、滋賀県から掃除指導者の方をお招きしての開催となりました。二中から6名、上中中からも1名の教員が参加しました。また生徒の保護者も参加してくれました。本来便教会の考え方は「教師のためのトイレ掃除の会」というものです。つまり、まずは子ども(生徒)に「掃除をしなさい」という前に「教師がしっかりと掃除というものに向き合いましょう」という考え方です。今後は今回のような大人数での掃除「大会」はできないかもしれません。けれど、我々教員が中心となって「細々と地味に未永く」続けていける福井便教会にしていきたいと考えています。

今回、二中学生徒に便教会の参加者を募った所、ものすごい数の生徒が参加希望の意志を伝えに来てくれました。しかし、掃除を教えてくださいと指導者の方に限りがあるため、数十名の生徒の参加を断らなければいけない状況でした。せっかく希望してくれた生徒には申し訳ない気持ちでいっぱいでした。ぜひ、次回に参加してくれればと思います。以下、参加してくれた生徒たちの感想を紹介します。

○第1回福井便教会開催!

- 換気扇とか蛍光灯とか、トイレを使っても気付かないような所をキレイにしました。みんなにもキレイに使ってほしいです。(2年生女子)
- トイレの前まで来て、「別に素足じゃなくてもいいで」と言われました。けれどここまできて覚悟を決めていた私たちは「素足でやります!」と言ってトイレの中に入っていました。そして、便器に手をついてゴシゴシと磨くと面白いほど汚れが落ちて感動しました。1時間、2時間と便器とにらめっこ。道具も工夫して使いました。「トイレには神様がいて、トイレをきちんと掃除できたらベッピンさんになれる」、その意味が何となく分かった気がしました。(2年生女子)
- 実際、裸足で入った瞬間から私の中のスイッチが何か切り替わったような感じで「よしっ、キレイにしてやろう」と思いました。そして掃除を進めるうちに、「そろそろ便器は終わりにして、タイルに入って。時間が足りなくなるから」と言われました。自分をもっと便器をキレイにしたかったです。正直、こんな風に名残惜しさを感じるなんて思ってもみませんでした。便教会、自分の中の“何か”をたくさん変えてくれました。ありがとうございました。(2年生女子)
- 周りの人も初めは文句とかも言っていたけど、見てみると一生懸命掃除をしていて私も負けてはいけないと思ってやりました。明日からみんな、私たちが掃除をしたトイレを使ってくれるので「キレイになったな!」とか言ってくれたらうれしいです。今日の便教会はとても自分のためになったし、学校のためにもなったと思います。わざわざ遠い所から来てくださった方々に感謝します。2回目の便教会も参加して自分を磨きたいです。(2年生女子)
- 私たちに教えてくださった先生は17年間トイレ掃除を続けておられる方でした。慣れた手つきでトイレ掃除をされていてすごかったです。(2年生女子)
- 今の二中はいたずらとかがあって少し荒れています。でも、トイレをキレイにすることで内面から変わっていきけると思います。少しでも変わろうとしている人がいるのだから、二中はきっと変わることができると思います。そんな可能性を広げてくれるのがトイレ掃除だと思います。時間がかかってでも二中を福井県で一番キレイな学校にしていきたいです。(2年生女子)

○私はトイレ掃除が嫌というよりも先に「最後までピカピカにしてやるぞ！」という気持ちでいっぱいでした。便器を掃除するとたくさんのことを便器から教わりました。これからトイレを使用するときは、掃除してくれた人の気持ちを考えて使用したいと思いました。(2年生女子)

○家に帰って親に話をしたら「すごいことをしてきたな！」と言われました。(3年生男子)

○掃除をしていると何とも言えない位においがすごかった。自分の便器からはキーホルダーも出てきました。僕は便教会という名前はその通りだと思いました。なぜなら勉強と便教はつながっていると思ったからです。これからは自分の身の回りもキレイにしていこうと思いました。(3年生男子)

○勇気を出して便器に手を突っ込みました。不思議と汚いと思いませんでした。小便器の底には尿石というおしっこが固まったものがありました。それを全部僕が除去しました。僕は辛いことからすぐ逃げます。けど、何だか逃げない心が今日で少し身についたと思います。(3年生男子)

○今日は僕のお母さんも一緒に便教会に参加したから変な緊張感がありました。お母さんと一緒にトイレ掃除をすることは僕にとって大切なことだと思うのでこれからも頑張りたいです。(3年生男子)

○最初はちょっと嫌だったので、ゴム手袋をしました。でもどんどん黒ずみが取れていくのを見て、「あ、もういいや」と思って、ゴム手袋を外しました。私は武道館を掃除したのですが、いつも使っている場所だけあって特別なトイレっていう気持ちがありました。やっぱりいつもお世話になっているトイレをキレイにすると自分もうれしいし、トイレも喜んでくれていると思います。(3年生女子)

○なかなかキレイにならない所もあって少しイラッとしました。でもトイレ掃除の先生から「こうすれば汚れが落ちるよ～」と言われたとおりにやったら、ものすごく簡単にキレイになりました。(3年生女子)

○便器は見える所はキレイな場合が多くて、見えない所に汚れがたくさんあるということが分かりました。トイレ掃除というのは、慣れれば誰にでもできるということがわかりました。(3年生男子)

○確かにトイレ掃除は地味やし、誰が掃除したか分からんけど、それがいいんかなあって思いました。今まで便器の中に手を突っ込んだことなんてなかったので、初体験で結構楽しかったです。無言で便器と向き合って便器を磨いていたら、便器がそれに応えてくれるように、段々キレイになってきてうれしかったです。今日、便器と向き合ったように色々なことにも対してもちゃんと向き合っていきたいです。(3年生女子)

○今日感じた「キレイな心」というのをずっと忘れずに頑張っていきたいです。(3年生女子)

○今回、トイレ掃除に参加したのは2回目でした。1回目以上に集中して取り組みました。前回は大便器の掃除だったけど、今回は小便器の掃除で、また違った感覚で掃除をできたので良かったです。カネヨンという洗剤を使ったら、どんな汚れも簡単に落ちたのが感激でした。(3年生男子)

○トイレ掃除をしながら富山から来てくださったトイレ掃除の先生と色々な話をしました。普段の二中の様子とかの話もしました。楽しかったです。(3年生男子)

○次回トイレ掃除の会(予定) ※詳細案内は後日、正式決定をしてからお伝えします。

名称：第2回福井便教会 ～教師の 教師による 教師のための トイレ掃除の会～

日時：平成23年8月20日(日)

場所：小浜第二中学校か若狭地区の中学校

君がやるなら 私もやる！ みんなで ベッピンさん☆